



Mini Disclosure

 **盛岡信用金庫**

ミニディスクロージャー2025
盛岡信用金庫 上半期の現況



地域の課題解決に取組み、地域社

創業・起業・本業支援

【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社（現 ミライドアTohoku株式会社）との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和7年9月末までの投資実績は18社141百万円です。

第28回信用金庫社会貢献賞

「地域活性化運動・優秀賞」を受賞しました



一般社団法人全国信用金庫協会が主催する第28回信用金庫社会貢献賞において、当金庫の「療養児への本寄贈プロジェクトに参画」が「地域活性化運動・優秀賞」を受賞しました。令和7年6月20日に表彰式が執り行われ、表彰盾と副賞のブロンズ像が授与されました。



本件については、「もりおかSDGsファンド」第一号投資先である株式会社盛岡書房が立ち上げた「象と花プロジェクト」の取組みと、同社の理念に賛同した当金庫がプロジェクトのメインパートナーとして、直接金融と併せ「古本の回収」等事業のサポートに関わる姿勢が評価されました。

信用金庫社会貢献賞は、全国の信用金庫がそれぞれの地域で実践している社会貢献活動を顕彰することを通じて、信用金庫らしい地域に根ざした様々な取組みを紹介し、地域における信用金庫の存在価値を名実ともに一層高めることを目的として、平成9年度に全国信用金庫協会が創設した表彰制度です。

当金庫は、平成25年度第17回において「ファンドによる起業支援への取組み」が、「地域活性化運動・優秀賞」を受賞しており、今回が2度目の受賞となります。

当金庫は、「象と花プロジェクト」のメインパートナーとして令和3年8月から営業店に「古本回収（寄付）ボックス」を設置し、これまでに3万冊を超える古本の回収につなげました。



会の持続可能な発展をめざします。

成長・安定化支援

とうぎん・もりしんアグリファンドによる一次産業支援

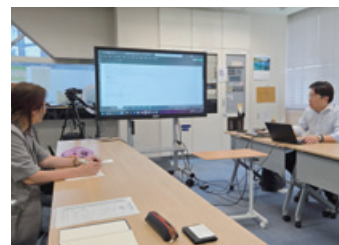
株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により「とうぎん・もりしんアグリファンド」を設立しました。

ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である一次産業を支援しています。農業法人投資育成事業にかかるファンドの、信用金庫と地方銀行による共同設立は全国初の取組みです。

岩手県よろず支援拠点との連携



全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ619事業先（令和7年9月末時点）の相談を受けました。岩手県よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析に終わらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。令和4年度からは、オンライン相談に対応し、最寄りの営業店で相談できる態勢を整えています。



カスタマーボイス

藤原 準一（CYCLE Dr.ちろりん）

「あなたの自転車のかかりつけ医」をキャッチコピーに、令和7年2月に自転車店を創業。長年培った確かな技術をもとに、スピーディな修理や提案でお客様の自転車生活をサポートしています。

創業するにあたり、盛岡市などが主催する「起業家塾@もりおか」に参加し、起業に向けた準備をスタートしました。自分が理想とする自転車店のイメージはあったものの、お客さまにどのように伝えたらいいのかわかりませんでした。

盛岡信用金庫に創業資金の相談をし、事業計画書を基に何回も打合せをする中でご紹介いただいたのが「岩手県よろず支援拠点」でした。専門家の方との相談を繰り返すうち自身のめざす自転車店のイメージが明確になり、店名やキャッチコピーとして言語化することができました。これを基に看板を作成する際には、盛岡信用金庫の取引先をご紹介いただき安心して依頼することができました。

現在は学生を中心に近隣住民や通行人への認知も進み、毎日色々なお客さまにご来店いただいておりますが、まだまだ成長に向けた課題を抱えています。岩手県よろず支援拠点では、課題に対し最適な専門家がチームで対応していただけるので、SNSの運用やチラシ作成、HP作成など何度も継続して相談させてもらっています。これからも岩手県よろず支援拠点の専門家の方や、盛岡信用金庫の支援をいただき、たくさんの方に安全な自転車生活を過ごしてもらえよう、精一杯サポートしていきたいと考えています。



事業再生支援

経営相談・財務診断、法律・税務相談、商圈調査・マーケティングなど、外部支援機関との幅広いネットワークを活用し、経営改善・事業再生に向け、お取引先に適したきめ細やかで付加価値の高いサービスを提供しています。

事業承継支援

事業経営者の高齢化が進む中で、外部支援機関との幅広いネットワークを活用し、後継者問題に悩むお取引先への事業承継支援やM&Aのご相談をお受けしています。

SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み



国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に、より一層貢献していくことを目的として、盛岡信用金庫「SDGs宣言」を策定しました。また、岩手県内の6信用金庫(盛岡信用金庫・宮古信用金庫・一関信用金庫・北上信用金庫・花巻信用金庫・水沢信用金庫)で、「SDGs共同宣言」を公表いたしました。今後も、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面からお取引先をはじめ、地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。



中小企業基盤整備機構東北本部から感謝状が授与されました

令和7年8月21日、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部から、小規模企業共済の加入促進に係る感謝状が授与されました。本件は、令和6年度に当金庫の仲介で新規加入した件数が、東北地区信用金庫内において1番の実績であったことが評価されたものです。当金庫は、令和元年度から7年連続で感謝状が授与されました。小規模企業共済は、昭和40年に発足した個人事業主や会社役員を対象とした、経営者の退職金制度です。当金庫は、事業を営むお客さまの、将来に対する不安を払拭し喜んでいただける制度として推進しています。



盛岡信用金庫×フコクしんらい生命保険株式会社「SDGsに係る共同寄付」

当金庫とフコクしんらい生命保険株式会社は、令和7年8月26日、「SDGsに係る共同寄付」贈呈式を執り行い、こども食堂を運営する団体で構成される「子どもの居場所ネットワークいわて」に対し206千円(当金庫103千円、フコクしんらい生命保険株式会社103千円)を寄付しました。本事業は、当金庫とフコクしんらい生命保険株式会社が令和4年3月に締結した「SDGsに関する共同寄付スキーム覚書」に基づき、対象商品である「ハローキティの定期保険」の年間販売件数に、所定の寄付額単価を乗じた金額について、当金庫が選定した公共性・公益性の高い団体・組織等に対し、各々同額を寄付することとしています。



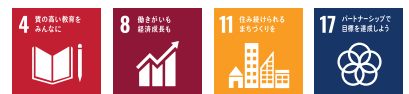
中学生職場体験学習

職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校延べ20校136名の生徒を対象に実施しました。令和7年度上半期は、盛岡市立見前南中学校6名の生徒が、金融機関の基本業務や、実際の営業店業務を学習しました。また、社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会と連携し「高齢者疑似体験学習」を実施しました。実際に高齢者疑似体験装具を身に着けることで、加齢による体の不自由さを体験し、高齢者へ配慮した適切な対応を学習した他、車いすの基本操作や介助方法等も学習しました。



「Little Bee of Hachimantai ~わくわくおしごとたんけん広場~」への参加

令和7年9月20日、八幡平市松尾総合運動公園「アリーナまつお」及び周辺施設を会場に、八幡平市内の小中学生を対象に開催された「Little Bee of Hachimantai~わくわくおしごとたんけん広場~」に参加しました。本企画は、八幡平市を支える人材育成と会員事業所の経営力の向上を目的として、八幡平市内の小中学生ほかを対象に開催されました。当金庫は、岩手銀行平館支店と連携してブースを設営し、「金融機関のお仕事」として、模擬紙幣でお札の数え方、機械を使ったお札の数え方・束ね方、1億円重さ等を体験していただきました。



高校生を対象としたインターンシップの受入れ

高校生の職業選択能力の育成や、地元企業魅力を伝えることにより人材の将来的な地元定着を図ることを目的とする、盛岡市の「盛岡広域圏高校生インターンシップ事業実施協議会」の登録企業として、令和7年度から生徒の受入れを始めました。令和7年9月11日・12日、岩手県立盛岡商業高等学校2年生8名、令和7年9月16日、盛岡市立高等学校2年生1名の生徒が、当金庫のインターンシップに参加しました。生徒は、預金・融資・為替といった金融機関の基本業務や、信用金庫が地域のお金を循環させる役割を担っていることなどを学び、また、模擬紙幣を使用してお札の数え方を体験したほか、営業店業務の様子を見学しました。また、生徒から令和7年3月に卒業した先輩職員へ、高校生時代の就職活動に対する取り組みや、社会人になってからの感想等、活発な質問が行われました。



「紫波企業の森づくり」 森林環境保全活動



森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

平成24年度から令和7年度までの活動で、約6.5ha（東京ドーム約1個分強）の面積を整備し、約64tの二酸化炭素吸収に寄与しました。また、令和2年度から令和5年度までは、コロナ禍の状況を鑑みて、「令和の森」において植樹・育樹の活動を実施しました。第14回目となる令和7年度の活動は、令和7年6月14日に新入職員含む計33名の役職員が参加し、間伐により散在している木材を、森の中から作業用道路へ運搬する作業を行いました。



「八幡平松尾鉦山跡地」 森林再生活動



平成20年度より、荒廃裸地化した鉦山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉦山跡地に「友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。

これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

第14回目となる令和7年度の活動は、令和7年6月14日に役職員とその家族15名により、保育活動（除伐、枝打ち、下草刈り等）を主に実施しました。



第39回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」



平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第39回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和7年8月2日～5日の日程で、雫石町営野球場と雫石町営鶯宿グラウンドA・B・Cを会場に開催されました。本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、闘志あふれるプレーが繰り広げられました。

【優勝】土淵ボンパーズ（盛岡市代表）



第13回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」



平成25年の春から、子供たちに自然を大切にする心・郷土を愛する心を育み、子供たちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第13回目となる令和7年春のコンクールには、30校・2団体の児童より1,496点の作品をご応募いただき、内34点を受賞作品として選定しました。

令和7年8月9日～13日の期間中、パルクアベニュー・カワトク7階ロイヤルルーム他を会場に、第13回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」応募作品展示会を開催し、小学生の絵画と併せ幼稚園・保育園の園児が制作した桜の「貼り絵」を展示しました。



第9回「もりしん愛の献血運動2025」

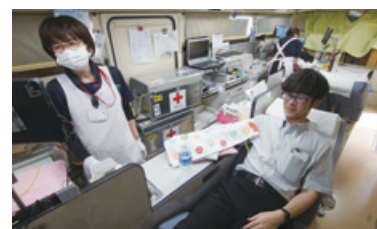
～6月15日は信用金庫の日～



昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取組みを実施しています。

当金庫では、令和7年6月～12月の期間中、第9回「もりしん愛の献血運動2025」を実施し、献血の協力をしています。

令和7年7月23日、「献血バス」の会場として当金庫都南支店駐車場を開放し、献血に協力しました。

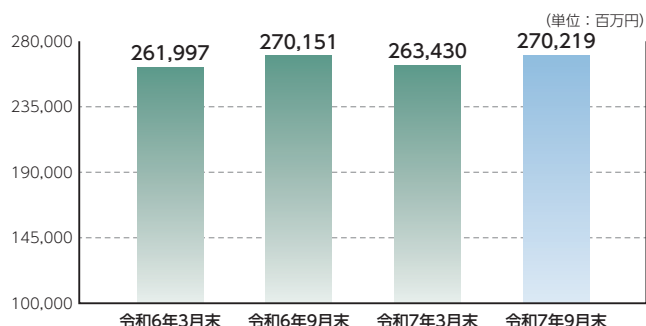


預金及び貸出金の推移

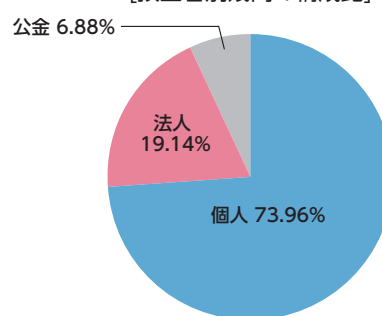
預金積金の状況

[預金積金残高の推移]

令和7年9月末の預金積金残高は、前年同期比で68百万円増加し、**270,219百万円**となりました。



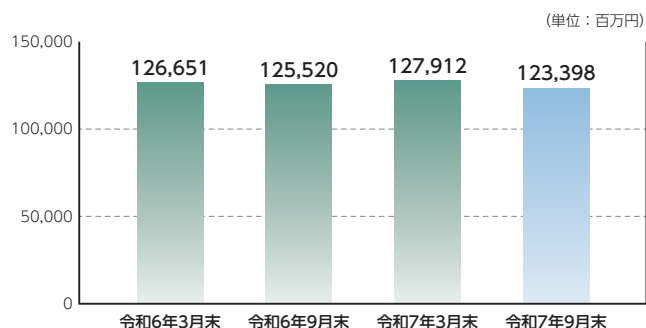
[預金者別残高の構成比]



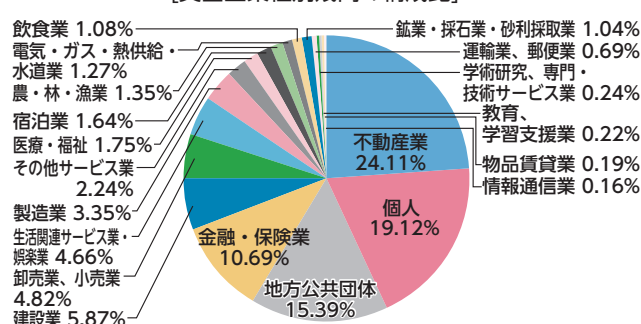
貸出金の状況

[貸出金残高の推移]

令和7年9月末の貸出金残高は、前年同期比で2,122百万円減少し、**123,398百万円**となりました。



[貸出金業種別残高の構成比]



収益の状況

令和7年9月末のコア業務純益は305百万円、経常利益は243百万円、当期純利益は328百万円となりました。

(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和7年9月末
業 務 純 益	196	207
実 質 業 務 純 益	196	207
コ ア 業 務 純 益	358	305
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	338	285
経 常 利 益	276	243
当 期 純 利 益	267	328

自己資本の状況

令和7年9月末の自己資本額は、前期末より323百万円増加し、9,859百万円となりました。

自己資本比率は、前期末より0.37ポイント増加し9.57%となりました。

(単位：百万円)

項 目	令和7年3月末	令和7年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	9,536	9,859
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	328	335
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	9,207	9,523
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	99,989	99,414
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	9.20%	9.57%
信用リスクに対する所要自己資本の額	3,778	3,755
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	221	221
単体総所要自己資本の額	3,999	3,976



「盛岡さんさ踊り」へ参加



信用金庫野球大会



信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区 分	令和7年9月末				保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,679	3,679	652	3,027	100.00	100.00
危険債権	3,178	2,938	2,013	924	92.43	79.36
要管理債権	83	77	37	40	92.98	87.36
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	83	77	37	40	92.98	87.36
小計 (A)	6,942	6,695	2,703	3,992	96.45	94.18
正常債権 (B)	117,869					
総与信残高 (A)+(B)	124,812					

有価証券の時価情報

■ 売買目的有価証券 該当ありません。

■ 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

		令和7年3月末			令和7年9月末		
		貸借対照 表計上額	時価	評価差額	貸借対照 表計上額	時価	評価差額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	97	97	0	—	—	—
	地 方 債	100	100	0	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	小 計	197	197	0	—	—	—
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	2,346	2,136	△210	2,623	2,324	△299
	地 方 債	2,799	2,630	△169	4,541	4,303	△237
	社 債	1,793	1,531	△262	1,894	1,550	△343
	そ の 他	—	—	—	—	—	—
	小 計	6,940	6,298	△641	9,058	8,178	△880
合 計		7,138	6,496	△641	9,058	8,178	△880

(注) 1. 時価は、令和7年9月末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

■ その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

		令和7年3月末			令和7年9月末		
		貸借対照 表計上額	取得原価 (償却原価)	評価差額	貸借対照 表計上額	取得原価 (償却原価)	評価差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	102	71	30	125	75	49
	債 券	300	300	0	—	—	—
	国 債	100	99	0	—	—	—
	地 方 債	100	100	0	—	—	—
	社 債	100	100	0	—	—	—
	そ の 他	5,088	4,474	614	4,941	4,314	627
	小 計	5,492	4,846	645	5,067	4,390	677
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	129	155	△26	107	116	△8
	債 券	23,579	26,353	△2,774	26,060	29,023	△2,963
	国 債	9,212	10,644	△1,432	11,473	13,025	△1,552
	地 方 債	1,767	1,917	△150	1,587	1,728	△140
	社 債	12,599	13,791	△1,191	12,999	14,270	△1,270
	そ の 他	15,023	16,996	△1,973	13,888	15,571	△1,682
	小 計	38,732	43,506	△4,773	40,056	44,711	△4,654
合 計		44,224	48,352	△4,128	45,123	49,101	△3,977

(注) 1. 貸借対照表計上額は、令和7年9月末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は、本表には含めておりません。

■ 市場価格のない株式等及び組合出資金

(単位：百万円)

	令和7年3月末	令和7年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非上場株式	98	98
組合出資金	168	170
合 計	267	269



株式会社岩手日報社との生成AIに関する連携協定の締結について

当金庫は、株式会社岩手日報社と「生成AIに関する連携協定」を締結しました。
本協定は岩手県内において生成AIの普及・活用を促進し、各々が有するノウハウやネットワーク等を生かしながら人口減少や物価高等に直面する地域の様々な課題の解決につなげ、地域活性化を図ることを目的としております。
当金庫は、これからも、より良質なサービス提供に努め、地域の発展に貢献できるよう取組んでまいります。

連携事項

- (1) 生成AI等の活用による地域の活性化に関する事項
- (2) 生成AI等の活用による企業、地方自治体等の業務効率化及び生産性向上に関する事項
- (3) 生成AI等の活用による新規事業創出に関する事項
- (4) 様々な地域課題及び生成AI等を巡る社会情勢等の分析、情報交換に関する事項
- (5) その他前条の目的を達成するために両者が必要と認める事項



「手形・小切手の発行終了」について

当金庫では、政府・金融界・産業界が一丸となって取組んでおります「手形・小切手の全面的な電子化」に向けた対応として、下記のとおり手形・小切手の発行を終了させていただきます。今後も一層サービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1.実施内容

手形・小切手の発行終了

※約束手形帳、小切手帳の発行受付を終了いたします。

2.発行終了日

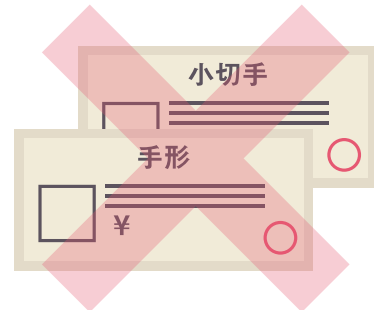
令和8年3月31日（火）

3.実施済みの取組み

- (1) 当座預金の新規口座開設の受付停止
- (2) 専用約束手形当座預金（マル専）の取扱い廃止
- (3) 令和9年4月以降を期日または振出日とする手形・小切手の代金取立の受付停止
- (4) 払戻請求書による当座預金からの払戻しの取扱い開始

4.手形・小切手等に代わるサービスのご案内

当金庫では、手形・小切手に代わる決済サービスとして、電子記録債権（でんさい及びでんさいライト）またはインターネットバンキング等のご利用をご案内しておりますので、お早めに移行をご検討くださいますようお願いいたします。



盛岡信用金庫

ミニディスクロージャー2025・盛岡信用金庫上半期の現況
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6
TEL 019-623-2221
URL <https://www.shinkin.co.jp/morishin/>



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

